



つるどく

vol.10 あけおめ♪号

STAFF:都留高図書委員

みなさんこんにちは!
あけましておめでたいぬ♪
(せーやさんのマネ)

今年も図書館を
よろしくお願ひします。

今年の干支は^{いぬ}戌。
サルやイノシシではないので、
せーやさんはゴキゲンなはず。

ワンだふるな1年に
なるといいですね!



1-4 河崎七海サン(図書委員)のおすすめ本

『妖怪アパートの優雅な日常』(全10巻+1) ^{こうづきひのわ} 香月日輪

私がおすすめる本は『妖怪アパートの優雅な日常』です。妖怪アパートと呼ばれている「寿荘」には、詩人に画家に霊能力者の女子高生。子どもと犬の幽霊や黒く大きな卵みたいな大家さんや手首のみの賄いさんなどの妖怪と人間が入り混じって暮らしています。主人公である高校生の稲葉タ士もその一人。高校生というのは大人になりかけている時期。彼が私達と同じ様に人間関係などの悩みを抱え、葛藤していると、寿荘の人々(?)は、優しく、時には厳しい言葉を掛けてくれます。高校生である私達だからこそ感じる事ができるものがきっとあるはず。是非読んでみて下さい。



木内政美先生(世界史)のおすすめ本

<万能鑑定士Q>シリーズ 松岡圭祐 (角川文庫→講談社文庫)

Qシリーズは全12巻およびその後のシリーズを合わせると20巻近くになる。キャッチフレーズは「面白くて知恵がつく人の死なないミステリー」。内容は高校までは万年学年最下位だった美少女・凜田莉子が、やがて高度な「ロジカル・シンキング(論理的思考)」を駆使し、店に持ち込まれる依頼品の鑑定を発端として事件解決に乗り出すというミステリーだ。随所にみられる「物事の裏側」を教えてくれるのも魅力の一つである。この手法は新潮文庫の100冊にもなった、ディズニーランドの裏側を描いた同氏『ミッキーマウスの憂鬱』にも通じる。同氏は最近、歴史小説も書いており『黄砂の籠城』(講談社文庫)は義和団事件の北京を詳細に描いており、秀逸だ。

…次回は、渡辺香奈子先生です。

2-4 三塚 新クン(多読者第8位)のおすすめ本

『美しい科学の世界 ビジュアル科学図鑑』

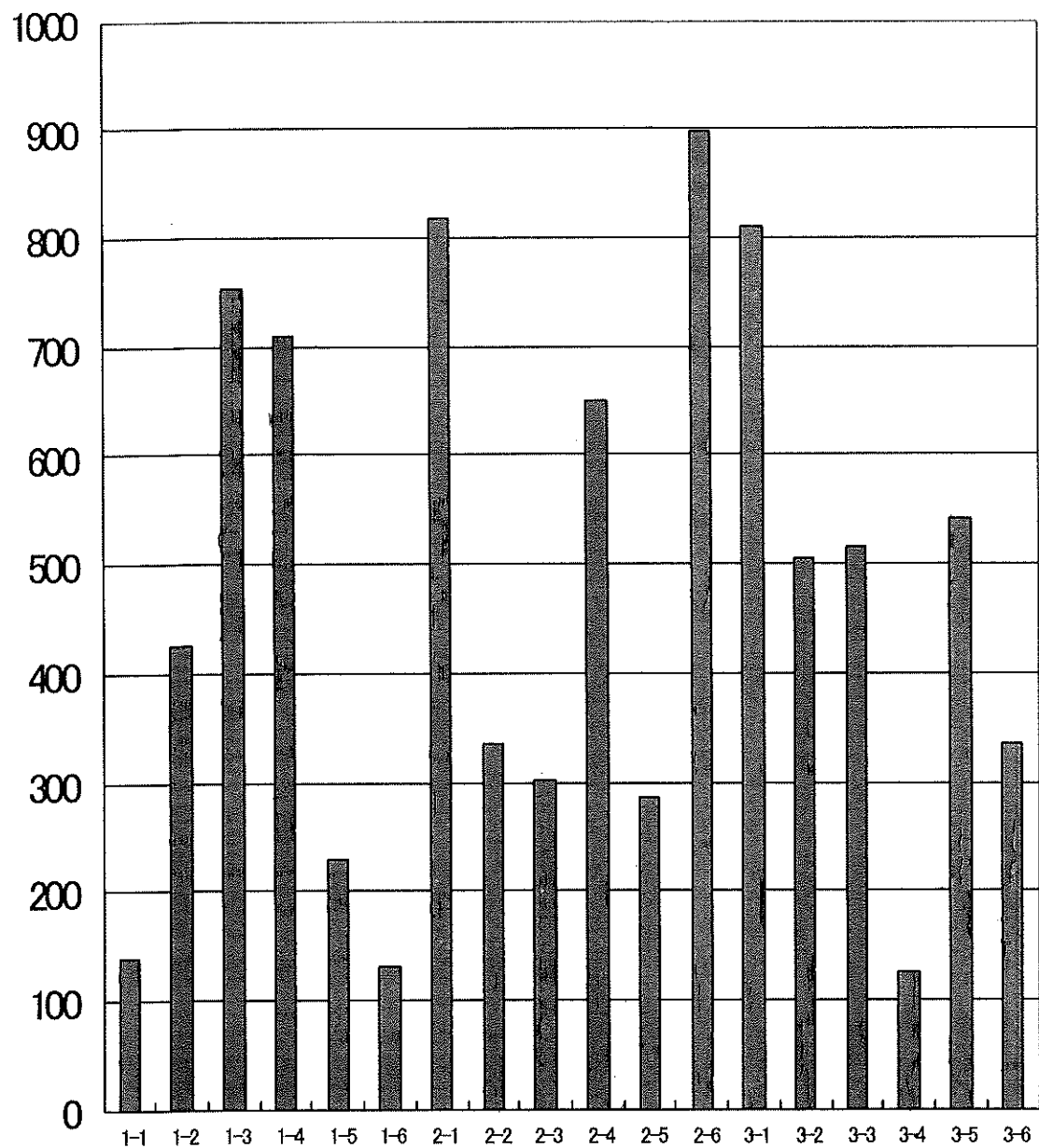
伊知地国夫 写真・文

「科学が好きだ!」という人、または「科学が嫌いだ!」という人におすすめの本が、この『美しい科学の世界 ビジュアル科学図鑑』です。この本は、いつも見慣れている身の回りの日用品や生き物などの、不思議で美しい一面を集めた写真集です。一枚一枚の写真には作者によるわかりやすい説明文が添えられていて、写真を楽しむと同時に科学の知識も身につきます。私が特に感動した写真は、表紙にもなっている「ビタミンCの結晶」と、超アップで撮られた「発泡スチロール」です。どちらも誰もが知る物質ですが、普段の姿からは想像もつかない美しさに、私は思わず圧倒されてしまいました。気になる方はぜひ手に取ってみてください。





クラス別貸出冊数



図書館利用統計

1年	2387冊
2年	3292冊
3年	2836冊
職員	2019冊

合計 10534冊
(~12月)

…ついに1万冊達成!!!

多読者ベスト10

1位	2-6	渡邊大雅	772冊
2位	3-5	土屋悠平	333冊
3位	2-4	吉澤聡一朗	307冊
4位	2-1	佐藤静華	275冊
5位	2-1	小幡詩野	221冊
6位	2-2	小幡可野	190冊
7位	1-3	杉本季来奈	178冊
8位	2-4	三塚新	175冊
9位	3-3	佐々木綾音	147冊
10位	1-3	坂本佳奈美	136冊

(~12月)

…リアル少年マンガのヒーロー
(怒ると髪が逆立ちます!)
ユーハー君が赤丸急上昇!

